

2019年7月19日 島根県庁記者会見室にて

参議院選挙鳥取・島根合区選挙区 3候補者への公開質問と回答について
～「島根原発及び原発・エネルギー政策に関する公開質問」～

島根原発・エネルギー問題県民連絡会
事務局長 保母 武彦

1. 合区立候補者3名に対して、当県民連絡会が実施した「島根原発及び原発・エネルギー政策に関する公開質問」の結果を報告します。
2. 質問項目は、下記の4項目。（*別添資料をご参照ください。）
 - 問1. 島根原発2号機・同3号機の稼働の是非について
 - 問2. 周辺自治体と中国電力との「安全協定」改定問題について
 - 問3. 原発稼働への地元同意権について
 - 問4. 国の原子力・エネルギー政策についてなお、質問状は、7月1日に郵送及びFAX送付し、回答期限を7日でお願い。

3. 回答の状況

(1) 舞立昇治候補の回答

選管に登録された米子市内の舞立事務所に宛てて、7月1日に郵送及びFAX送付したが、7日までに回答がなかった。7日夜、連絡会から電話したが、何日までに回答するという反応はなかった。

8日午前米子の舞立事務所に電話連絡すると、「アンケートや質問には東京(議員会館内の舞立議員控室)で担当のN氏が一括対応することになっている。N氏が12時15分発で東京に向かうので、今晚までに調べて連絡させます。」とのことであった。しかし、連絡はなかった。その後、米子の事務所と東京の担当者N氏に、再三連絡したが、進展はなかった。

12日、N氏からの電話連絡では、「回答は本人の確認が必要だが、本人が多忙により回答できない。基本的には自民党の選挙公約と同じです」とのこと。こちらから「回答をもう少し待つ」と投げかけたが、「回答は無理」との返事であった。この会話が最後となり、舞立候補からの回答は、受け取れなかった。

◆島根原発2基稼働をめぐる有権者世論は、稼働反対が稼働賛成を20ポイントも大きく上回っている(「山陰中央」7/18付)。回答期限の再三の延長提案をも拒否した舞立氏の本心は、「原発の争点外し。原発隠しの選挙」ではないか。

* 参考までに、自民党参院選政策には、下記の記述がある。

「原子力規制委員会によって世界で最も厳しい規制基準に適合すると認められた場合には、立地自治体等関係者の理解と協力を得つつ、原発の再稼働を進めます。」

* 舞立候補は、13日、鹿島町で下記の演説をした。

「世界最高水準の安全基準を満たした原発は稼働していくべきだ。」

(2) **中林よし子候補からの回答**

7月7日受け取り。 (* 別添資料をご参照ください。)

(3) **黒瀬信明候補者からの回答**

7月8日、電話で「NHK から国民を守る」以外の質問には回答しない」。

* 参考 (7/9E メール回答の可能性)

候補者からと思われる『質問1』についてのみの簡単なEメール回答がありました。差出人が不明であり、受け取り後、差出人の確認を出しましたが、候補者からの返信がなく確認が取れていない状態ですので、現時点では回答内容の掲載は差し控えています。